

〔セクションⅠ〕基礎基本の理解度アップ

個別の指導計画



研修動画は
こちらをクリック
又は読み込み

1 個別の指導計画とは

子供一人一人の**具体的な指導目標や指導内容、方法等を明らかに**した計画

○ 個別の指導計画の役割

児童生徒個々の**個性や能力を最大限に生かし、伸ばす**という教育観に立ち、一人一人の「生きる力」を育てる**きめ細かい指導の基盤**となるもの

○ 指導を最適化する

一人一人の障がいの状態や発達の段階等に応じて指導を具体化する「**個別化**」と、個々の個性を生かす、伸ばすという「**個性化**」の観点から、個々の指導を最適なものへと充実させていく営み

2 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の性格

個別の教育支援計画

障害のある幼児児童生徒一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考え方の下に、医療、保健、福祉、労働等の関係機関との連携を図りつつ、乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点に立って、一貫して的確な教育的支援を行うために、障害のある幼児児童生徒一人一人について作成した支援計画

個別の指導計画

幼児児童生徒一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かい指導が行えるよう、学校における教育課程や指導計画、当該幼児児童生徒の個別の教育支援計画等を踏まえて、より具体的に幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んだ指導計画

3 個別の指導計画の作成

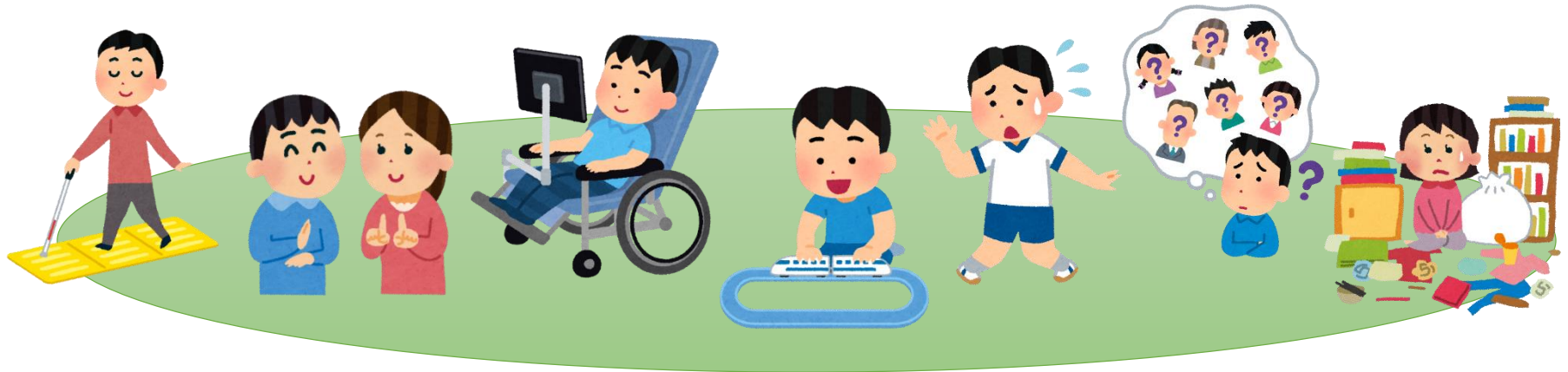
各教科等の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の実態を的確に把握し、次の事項に配慮しながら、個別の指導計画を作成すること。

次の事項とは・・・

- (ア) 児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等並びに学習の進度等を考慮して、基礎的・基本的な事項に重点を置くこと。
- (イ) 児童又は生徒が、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、それぞれの児童又は生徒に作成した個別の指導計画や学校の実態に応じて、指導方法や指導体制の工夫改善に努めること。（後略）

「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」文部科学省（平成29年4月）

障がいの状態の重度・重複化、多様化



個別の指導計画は、第1章総則第3節の3の（3）のアを具体化し、障害のある児童生徒一人一人の指導目標、指導内容及び指導方法を明確にして、きめ細やかに指導するために作成するものである。

「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼稚部・小学部・中学部）」
文部科学省（平成30年3月）

4 個別の指導計画作成の効果

- いつ、どこで、何を、どのように指導したらよいのかが明確になる。
- 複数の教員が共通理解し、指導に当たることができる。
- 指導の評価が具体的になり、保護者と共有することができる。
- 指導に対する保護者の理解と協力が得られる。
- 次年度への指導の引継ぎを行うことができる。

5 個別の指導計画の作成・活用の留意点①

また、（中略）、教科と自立活動の指導目標や指導内容の設定に至る手続きに違いがあることなどを踏まえると、教師間の共通理解を図り指導の系統性を担保するためには、各学校において個別の指導計画に盛り込むべき事項について整理する必要がある。

各教科

児童生徒一人一人の各教科の習得状況の確認などの実態把握が必要

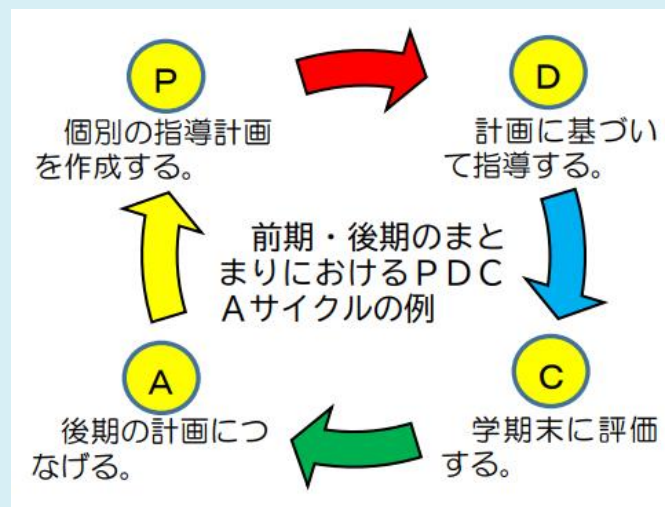
自立活動

児童生徒の困難さやよさなどの実態把握に基づき、指導すべき課題を整理し、指導目標を明確にして具体的な指導内容を設定

「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼稚部・小学部・中学部）」
文部科学省（平成30年3月）

5 個別の指導計画の作成・活用の留意点②

- 卒業するまでに、各教科等の指導を通してどのような資質・能力を目指すのか、各教科の指導内容の発展性を踏まえ、**指導目標を明確にする**。
- 自立活動の指導について、**なぜその指導目標にしたのか**などを、その設定に至るまでの考え方について、**次の担当者に引き継げるよう工夫する**。
- **計画が適切かどうかは、実際の指導を通して明らかになる**ことから、効果的な指導を行うため、**PDC Aサイクルで評価・改善すること**。



「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼稚部・小学部・中学部）」
文部科学省（平成30年3月）

「特別支援学級担任のハンドブック（新訂版）北海道立特別支援教育センター（令和4年3月） 8

演習

自校の個別の指導計画を基に、
次のことについて
確認しましょう！

- 個別の指導計画の様式は、どのようなになっているか。
- 作成から評価・改善の年間の流れは、どのようなになっているか。
- 各教科や自立活動の実態把握、指導目標や指導内容の設定は、どのような手続きで行っているか。
- 指導目標の設定に至るまでの考え方を次の担当者に引き継ぐことができるよう、どのような工夫をしているか。